

## さいたま食育推進ネットワーク会員紹介

『もぐひな』（金子理絵代表、埼玉県さいたま市）

### 「食べる」を楽しく学んでいこう！

「もぐひな」は、子供たちとともに「食べる」を学んでいこう！と集まった、食べることが大好きな3人のママさん（管理栄養士・保育士・元中学校理科教諭）のグループです。自分たちの資格や、これまでの経験を活かし、「食育」と「子育て支援」をテーマに、親子でお弁当やさんごっこをしたり、一緒にお料理を作ったり、小学生だけで料理を作ってみたりして、「食べるって楽しい。」ということを伝えています。



取材に伺った日も、小学生（1～4年生）たちが目をきらきらさせながら料理をしていました。

### 活動の広がり

もぐひなの活動の原点は、未就園児とその保護者を対象に、「食べる」をテーマにした遊びと学びのサークル、「もぐひな『キッズ』」（以下「キッズ」という。）で、さいたま市岩槻区の岩槻児童センターで、スタートしました。



1年間の活動を終える頃、「キッズ」を卒業する参加者から、子供と一緒にもっと続けたいという強い要望があったため、未就学児とその保護者を対象に「もぐひな『キッズプラス』」（以下「キッズプラス」という。）も始めました。

その後、もぐひなの活動は、「キッズ」や「キッズプラス」に参加したママさん達の口コミから、パパさんの参加や、3世代で参加する家族が増えるなど、対象世代が広がると共に、場所についても、さいたま市岩槻区から、さいたま市全体へ、さらに市外へと広がっていきました。現在、もぐひなでは、「キッズ」や「キッズプラス」のほか、

\* 「楽しい食卓」を提案する保育つき大人向け料理講習会「もぐひな『キッチン』」

\* 「キッズ」・「キッズプラス」を卒業した子どもたちも参加する小学生向け

## 料理講習会「もぐひな『ジュニア』」

\*希望のテーマに沿った内容による出張講座（幼稚園のほか小・中学校のPTAを対象にした講演・料理講習会等）なども行っています。

## 今後について

金子代表からは、「今まで、『キッズ』や『キッズプラス』などでは、子どもたちに、生きていく上で必要な『食』を楽しんでふれてほしいとの願いを込めて活動してきました。情報量が多い現代において、特に目新しい情報ではない一般的に知られている情報を、あえて実際の行動として伝えていくことによって、参加した保護者の皆さんに、自分を振り返り、確認し、自分の子育てに自信を持ってもらいたいと考えたからです。今後も、「もぐひな」は、豊かな心を育てる「食」、元気な身体を育てる「食」、楽しい・うれしい「食」、きちんと食べる「食」を基本に活動を行っていきたいと思います。」と抱負を語っていただきました。



## 取材を終えて

「もぐひな」さんに名前の由来を伺ったところ、「もぐ」は、「もぐもぐ食べる」の「もぐ」「ひな」は、3人がお住まいの「岩槻の伝統産業のおひな様」の「ひな」から名付けられたそうで、テーマにしている「食育」と「地域で子どもを育てる」「私たちは地域に育てられている」という気持ちが込められているそうです。

当日は、学年の異なる子どもたち4人が1つのグループとなって一緒にプリンを作っていました。自分たちで役割分担を決めたり、低学年の子が危ない時には、上学年の子が代わってあげたり。その様子を「もぐひな」の皆さんたちが後ろから温かく見守っていました。

サンタクロースをいちごで作るときの子供たちの表情は輝いていて、出来上がったいちごのサンタクロースに乗ったプリンに、とても嬉しそうでした。参加した子どもたちに感想を聞いてみたところ、笑顔とともに「楽しい!」「美味しい!」「何回も来ているよ。」と元気な答えが返ってきました。

(たしろ)

